

【特別回】対話がカリキュラムを生む! 生徒とのコミュニケーションにより、個々に最適な指導を見つける!

今回ご紹介するのはI・T・T・O
指導学院松戸北小金校の廣野副
教室長。大学生時代に塾講師の
アルバイトにのめり込み、教室長
を目指すようになったのだとい
う。

Q勉強に関しての、学生時代のエピソードはありますか。

Aはい。中学生の頃は、努力しているにもかかわらず、なかなか点数が上がらないため、よく両親に叱られたのを覚えています。どうしても結果を出したかったので、両親に頼んで某塾に入れてもらいました。

そこで効率の良い学習方法を教えてもらい、努力が結果に結びつくようになりました。そこからは努力した分だけ点数が上がるようになったので、勉強が楽しくなりました。

Q塾講師になろうと考えたきっかけと、印象に残っている出来事は何ですか？

Aせっかく努力して大学に入ったので、自分の経験を他の子たちに伝えたい、と考えたため

です。大学に入ってすぐに塾講師としてアルバイトを始めましたが、最初はうまく成績を伸ばすことができませんでした。

特に印象に残っているのは、当時中学校2年生だったある生徒の事です。その生徒は1学期の間テストで、英語で1桁台の点数を取っていました。最初の頃はきちんと宿題をやってきておらず、叱ることも多かったのを覚えています。それでも結果が出なかったので、私自身の手法の問題もあると思います、対話を増やしました。すると、どうしてやらないのか、どうしたらやってくれるのかを見つけて出すことができ、その生徒のためのカリキュラムを作成することができました。結果として、中学2年生の学年末テストでは、70点以上の点数を取ることができました。この経験により、生徒としっかりと対話することの大切さを知ることができました。

Q趣味はありますか。

A趣味は将棋と、海外旅行です。将棋は、小さい頃に祖父に教わり、二人の兄と頻繁に指していました。

勝ち負けよりも将棋を指す過程に、面白さを感じています。海外旅行は、小さい頃からの憧れでした。大学生の頃、アルバイトで貯めたお金で、ようやく、初めての海外旅行となるタイ・バンコクに行きました。下調べも不十分な旅行だったので、地平線しか見えない場所で夕クシーに降ろされるなど、様々なハプニングが起こりました。ですが、自分の期待していた冒険ができたため、今では時間があれば海外旅行に行くようにしています。

最後に、「まず、生徒さんや保護者様全員に、当塾の勉強や指導内容について安心感を持っていただけのような教室にし、受験生全員が第一志望校に合格できることを目指します。そのために対話とコミュニケーションを大切にし、辛くも楽しく成長できる場として地域に慕われる塾にするために、全力を尽くします!」と熱く語ってくれた廣野副教室長。誠実な性格で、伸びない生徒の気持ちかわかる廣野副教室長ならば、それぞれの生徒さんに合った学習方法を身につけてくれることだろう。